

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成21年 3月18日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3471504351
法人名	有限会社 日野企画
事業所名	グループホーム プリムローズ草戸
所在地	広島県福山市草戸町五丁目10 - 11 (電 話) 084 - 954 - 5575
評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島県広島市安佐北区口田南四丁目46 - 9
訪問調査日	平成21年2月27日

## 【情報提供票より】(21年 1月19日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 8 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	6 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 7.25 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建て	1階 ~ 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円	
敷 金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 50,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 1年	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり 1,250 円				

### (4) 利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	9 名	男性	5 名	女性	4 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	2 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 78 歳	最低	65 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	山陽病院
---------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街の中にあるグループホームである。経営者、管理者職員は家庭的な雰囲気を作り出して介護をしておられ、入居者はゆったりとした生活をしておられる。入居者が外出したいときは玄関へ行くと職員が自然な感じで外出のフォローをしておられた。これからもこの雰囲気で運営されることを期待します。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	グループホームのよいところを職員皆が相談しながら改善に努められている。特に家庭的な介護の取り組みが職員によく理解されており、自然な形と見られた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	家庭的な雰囲気の取り組みが自然な形で行なわれている。これからもこの雰囲気で行なわれることを期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2月に一度開かれており、メンバーは町内会長、老人会長、民生委員、地域包括介護センター職員、家族とホームの理事構成されている。ホームと地域と連携を深める取り組みが見られ、防災訓練を予定したときは消防署の職員も参加している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族訪問時に家族と相談するなど家族の意見を取り入れた介護計画をたてると共に介護の中に生かす様子が見られる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に入っており、盆踊りや文化祭などの町内会の行事に参加している。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念が共用空間の壁に大きく掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングで時々話し合われている。		家庭生活で行なっている介護がホームの中にそのまま生かされており理念が自然に表現されている。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入っており、盆踊りや文化祭に参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価された内容は介護するときの取り組みに役立てている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に消防署の参加していただき防災訓練に取り組むことができた。		

プリムローズ草戸

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護認定のとき相談をしている。		市や社会福祉協議会の研修会に参加されるとよい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月手作りの ホーム便り を作り家族に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問があるときは話(意見)を聞くようにしている。意見箱を置き声を聞くようにしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	施設の開設から1名の退職者(病気退職)があるがその人も元気になられたら復職の予定である。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ミーティングは毎月1回開かれており、2ヶ月に一度は食事会を行ない職員と管理者の意見の交換はよく行なわれている。外部研修は管理者の働きかけでよく参加している。		職員は働きやすい職場であるとの気持ちが出ており明るい雰囲気である。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム同士が集まる会があり、そこの研修会などが行なわれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者は全員市内の人であり地域のケアマネージャーからの紹介で見学によく来ておられる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>昼間は共用空間で入居者と職員が話しをしたりして居られる。</p>		<p>職員と入居者の会話は家族的な雰囲気できれい親しみのある感じで行なわれている。</p>
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>外出希望で玄関に出られる人いるが職員がすぐ対応して外出を行なっている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>モニタリングを全職員の参加で行い、それにより介護計画を作り全職員参加で決定している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>モニタリングによりカンファレンスを定期的に行なっており、全職員参加の介護計画が決められた期間に作られている。</p>		

プリムローズ草戸

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の希望を入れた介護に力を入れておられる。居室ではタミの希望があればそれに応えている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の2週間に1度の往診があり、歯科医は毎週の往診が行なわれている。かかりつけ医は職員が対応して訪問をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針を作り入居時に家族に説明をしている。		協力病院が積極的に取り組んでおられる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者一人ひとりの思いを大切にされた取り組みが見られる。個人記録などは事務室で管理している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は入居者一人ひとりの状況をよく知っており、声かけをしながら安心して暮らせるように配慮した取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が待ちきれない様子である。職員は食事介助に傾注しておられる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に3回(男女別)で用意しているが希望があれば毎日入れるようにしている。シャワー浴のときもある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	外出希望と一緒に出かけたり、地域の行事に参加している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩などの外出はすぐ対応できるようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は昼間は自由に出入りできる。居室は24時間自由に入れる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署が運営推進会議のメンバーとして参加しておられそこの話し合いで訓練をしている。		

プリムローズ草戸

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分補給量はきちんと記録している。バイタルもチェックしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	15時に体操の時間を作っているがそのときは全員の参加で行なっている。テレビ、ソファが置かれており、入居者同士が雑談をしておられる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には入居者の希望する家具などが入っている。		以前には居室で暮らす人が多かったが今回は共用空間で過ごす人が多くなっている。